

平均入院日数の実数と相対値を組み合わせた、施設別病床利用についての分析を行った。なお、本研究班では施設が同定可能な形式での結果の公表を行うことはできないので、匿名化した病院番号により施設を区別している。サンプルを参考資料⑩に添付している。

D. 考察

DPC ポートフォリオによる診療実態の可視化はこれまで、化学療法レジメン別 DPC 分岐の追加など DPC 分類を精緻化し、支払いを適正化するための資料として貢献してきた。今年度の研究により、入院化学療法ポートフォリオについては最終形ともいえる資料を作成することができたと考えられる。また、外来データを含めた解析を実施することにより、レジメンの内外比率や施設別の外来移行の程度、後発品使用率などの新たな情報が追加されることとなった。今後はこうしたデータを利用して臨床専門家による標準治療に関する議論を進めるとともに、DPC 制度の改善の観点からは高額薬剤の支払い方法についての中・長期的な方針を定める必要があると考えられる。

このほか、今年度は従来の DPC ポートフォリオおよび病院診療ポートフォリオの発展型として、病院間のデータの分布の差異を可視化するために新たな形式のポートフォリオを開発した。これらの資料からは、患者の年齢構成や診療資源の投入量等の集計結果について、病院間で系統的な差異が存在することが示唆されている。特に、こうした差異が現在の調整係数と明確な相関性を持つ事例も示されており、今後の新機能係数の議論の中では、係数の意味づけや妥当性について議論するだけでなく、現実のデータに即した評価結果のバラツキについて慎重に検討する必要があると考えられる。

さらに、今年度はこれまでに蓄積したノウハウを効率的に活用することにより、当年調査のサンプルデータを利用した分析も行った。このうち DPC 分類の緊急性についての分析からは、分類とリンクした緊急性の評価が可能であることが示唆されている。今後の救急機能の評価に際しては、個別症例の緊急性を評価するだけ

でなく、病院が持つ緊急対応が必要な診療サービスの供給能力に注目した DPC 分類によるケースミックス指標の開発についても検討を行うべきであると考えられる。

E. 結論

本研究では、平成 19 年度調査および平成 20 年調査サンプルデータを利用して、診療実態の可視化を行った。本研究の結果は、DPC 分類の精緻化と支払いの適正化、および新たな医療機関別係数についての議論において基礎的な理解を深めるための資料として、それぞれ活用が期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

石川ベンジャミン光一、松田晋哉、DPC データを利用した病院評価—がん化学療法における薬剤使用について、日本医療・病院管理学会雑誌;45(suppl.);188(2008)。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

参考資料①：入院化学療法ポートフォリオ／薬剤-DPC6 桁リスト

化学療法薬剤の詳細 (DPC 6 桁別)

D064：フルオロウラシル

→レジメン | →商品名 | ↑薬剤一覧

化学療法薬剤の内容

薬剤数	薬剤組み合わせ	症例数	+-%	施設数	DPC 6 桁
44	フルオロウラシル	60,709	20.3	865	163

DPC 6 桁分類別の使用状況

順位	DPC6	分類名称	症例数	+-%	+-差	施設数	+-%
1	060035	大腸 (上行結腸からS状結腸) の悪性腫瘍	16,674	27.5	27.5	761	0.9
2	060040	直腸肛門 (直腸・S状結腸から肛門) の悪性腫瘍	13,221	21.8	49.2	721	0.9
3	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 (続発性を含む。)	10,053	16.6	65.8	710	0.8
4	060010	食道の悪性腫瘍 (頸部を含む。)	6,597	10.9	76.7	501	0.9
5	060010	乳房の悪性腫瘍	3,434	5.7	82.3	415	0.5
6	040040	肺の悪性腫瘍	2,852	4.7	87.0	423	0.5
7	03001x	頸頸部悪性腫瘍	2,355	3.9	90.9	281	0.7
8	060020	胃の悪性腫瘍	1,139	1.9	92.8	308	0.4
9	110050	後腹膜疾患	975	1.6	94.4	258	0.4
10	070040	骨軟部の悪性腫瘍 (骨髄を除く。)	478	0.8	95.2	198	0.3
11	060030	小腸の悪性腫瘍	457	0.8	95.9	159	0.3
12	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	435	0.7	96.6	73	0.2
13	180050	その他の悪性腫瘍	305	0.5	97.1	117	0.3
14	06007x	膵臓、膵臓の腫瘍	214	0.4	97.5	79	0.1
15	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	172	0.3	97.8	74	0.1
16	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	129	0.2	98.0	46	0.1
17	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	103	0.2	98.2	87	0.2
18	040010	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	97	0.2	98.3	50	0.2
19	070042	上肢等の皮膚の悪性腫瘍	88	0.1	98.5	46	0.3
20	180010	敗血症	56	0.1	98.6	44	0.2
21	010010	脳腫瘍	55	0.1	98.6	48	0.1
22	020220	線内障	48	0.1	98.7	16	0.1
23	040050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	45	0.1	98.8	33	0.1
24	060340	胆管 (肝内外) 結石、胆管炎	38	0.1	98.9	31	0.1
25	130100	播種性血管内凝固症候群	36	0.1	98.9	33	0.1
26	180040	手術・処置等の合併症	30	0.0	99.0	26	0.1
27	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	27	0.0	99.0	25	0.0
28	110070	膀胱腫瘍	26	0.0	99.1	16	0.0
29	060300	肝硬変 (胆汁性肝硬変を含む。)	25	0.0	99.1	23	0.1
30	060100	小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む。)	25	0.0	99.1	15	0.1
31	130070	白血球疾患 (その他)	23	0.0	99.2	21	0.1
32	100070	2型糖尿病 (糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	20	0.0	99.2	18	0.1
33	120030	外陰の悪性腫瘍	19	0.0	99.2	12	0.2
34	060370	膵臓炎、膵腔内腫瘍 (女性器臓器を除く。)	18	0.0	99.3	18	0.1
35	180060	その他の新生物	17	0.0	99.3	9	0.2
36	160800	股関節大腿近位骨折	16	0.0	99.3	15	0.1
37	110080	前立腺の悪性腫瘍	14	0.0	99.4	5	0.0
38	070030	脊椎・脊髄腫瘍	13	0.0	99.4	4	0.1
39	060130	食道、胃、十二指腸、他臓の炎症 (その他良性疾患)	12	0.0	99.4	12	0.1
40	100180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	12	0.0	99.4	8	0.1
41	110100	精巣腫瘍	12	0.0	99.4	5	0.0
42	100020	甲状腺の悪性腫瘍	11	0.0	99.5	9	0.1
43	060050	狭心症、慢性虚血性心疾患	10	0.0	99.5	10	0.0
44	110420	水腎症 (その他)	10	0.0	99.5	9	0.1
45	130030	非ホジキンリンパ腫	10	0.0	99.5	8	0.0
46	11002x	性器の悪性腫瘍	10	0.0	99.5	7	0.2
47	100330	栄養障害 (その他)	9	0.0	99.5	6	0.2
48	010060	脳梗塞	8	0.0	99.5	8	0.0
49	130090	真血 (その他)	7	0.0	99.6	7	0.1
50	050180	静脈・リンパ管疾患	7	0.0	99.6	7	0.1
163	-	上記以外のDPC 6 桁分類(113)	262	0.4	-	-	-

参考資料②：入院化学療法ポートフォリオ／薬剤－レジメンリスト

化学療法薬剤のレジメンリスト

CD54：フルオロウラシル

→DPC 6 版 | →商品名 | ↑薬剤一覧

レジメンの内容									
順位	薬剤組み合わせ	薬剤数	症例数	←%	←累積	施設数	←%	DPC 6 数	
1	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)	3	22,546	37.1	37.1	781	83.2	81	
2	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+塩酸イリノテカン(6)	3	11,311	18.6	55.8	661	70.4	53	
3	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)	2	8,198	13.5	69.3	579	61.7	69	
4	フルオロウラシル(1)+シクロホスファミド(8)+塩酸エビルピシン(9)	3	2,905	4.8	74.1	354	37.7	29	
5	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)+ペバシズマブ(29)	4	2,623	4.3	78.4	290	30.9	22	
6	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)	2	2,108	3.5	81.9	372	39.6	36	
7	フルオロウラシル(1)	1	1,458	2.4	84.3	369	39.3	74	
8	フルオロウラシル(1)+ネダプラチン(25)	2	1,410	2.3	86.6	185	19.7	26	
9	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+塩酸イリノテカン(6)+ペバシズマブ(29)	4	1,283	2.1	88.7	215	22.9	17	
10	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+ドセタキセル水和物(11)	3	908	1.5	90.2	178	19.0	22	
11	フルオロウラシル(1)+メトトレキサート(17)+ホリナートカルシウム(24)	3	295	0.5	90.7	100	10.6	23	
12	フルオロウラシル(1)+シクロホスファミド(8)+メトトレキサート(17)	3	262	0.4	91.1	58	6.2	11	
13	フルオロウラシル(1)+カルボプラチン(3)	2	202	0.3	91.4	54	5.8	16	
14	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+ペバシズマブ(29)	3	201	0.3	91.8	55	5.9	9	
15	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+レボホリナートカルシウム(4)	3	151	0.2	92.0	44	4.7	11	
16	フルオロウラシル(1)+シクロホスファミド(8)+塩酸ドキシソルピシン(12)	3	142	0.2	92.2	25	2.7	9	
17	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+塩酸イリノテカン(6)+オキサリプラチン(7)	4	135	0.2	92.5	73	7.8	14	
18	フルオロウラシル(1)+マイトマイシンC(18)	2	122	0.2	92.7	46	4.9	13	
19	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)+かわらたけ多糖体製剤(58)	4	120	0.2	92.9	31	3.3	5	
20	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(10)	3	115	0.2	93.1	86	9.2	16	
21	フルオロウラシル(1)+塩酸エビルピシン(9)+マイトマイシンC(18)	3	114	0.2	93.2	44	4.7	9	
22	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸エビルピシン(9)	3	113	0.2	93.4	60	6.4	8	
23	フルオロウラシル(1)+ドセタキセル水和物(11)+ネダプラチン(25)	3	113	0.2	93.6	41	4.4	7	
24	フルオロウラシル(1)+塩酸ゲムシタピン(13)	2	106	0.2	93.8	33	3.5	8	
25	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸ドキシソルピシン(12)	3	98	0.2	94.0	15	1.6	3	
26	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+ホリナートカルシウム(24)	3	97	0.2	94.1	17	1.8	8	
27	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸ゲムシタピン(13)	3	94	0.2	94.3	25	2.7	12	
28	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸ミトキサントロン(39)	3	89	0.1	94.4	18	1.9	5	
29	フルオロウラシル(1)+ドセタキセル水和物(11)	2	88	0.1	94.6	37	3.9	11	
30	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+マイトマイシンC(18)	3	88	0.1	94.7	33	3.5	13	
31	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+テガフル・ウラシル配合(21)	3	87	0.1	94.8	50	5.3	8	
32	フルオロウラシル(1)+塩酸エビルピシン(9)	2	85	0.1	95.0	44	4.7	6	
33	フルオロウラシル(1)+塩酸イリノテカン(6)	2	85	0.1	95.1	39	4.2	7	
34	フルオロウラシル(1)+バクリタキセル(5)	2	82	0.1	95.3	21	2.2	9	
35	フルオロウラシル(1)+オキサリプラチン(7)	2	78	0.1	95.4	20	2.1	6	
36	フルオロウラシル(1)+テガフル・ウラシル配合(21)	2	72	0.1	95.5	28	3.0	14	
37	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+バクリタキセル(5)	3	72	0.1	95.6	24	2.6	11	
38	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸エビルピシン(9)+マイトマイシンC(18)	4	70	0.1	95.7	28	3.0	11	
39	フルオロウラシル(1)+シクロホスファミド(8)+塩酸エビルピシン(9)+アナストロゾール(33)	4	64	0.1	95.9	37	3.9	5	
40	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+塩酸イリノテカン(6)+かわらたけ多糖体製剤(58)	4	64	0.1	96.0	23	2.4	6	
41	フルオロウラシル(1)+塩酸ドキシソルピシン(12)+ネダプラチン(25)	3	56	0.1	96.0	7	0.7	3	
42	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)+酢酸オクトレオチド(28)	4	45	0.1	96.1	44	4.7	6	
43	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+ネダプラチン(25)	3	44	0.1	96.2	29	3.1	4	
44	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)+テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(10)	4	37	0.1	96.3	33	3.5	7	
45	フルオロウラシル(1)+インターフェロンα-2b(81)	2	37	0.1	96.3	11	1.2	3	
46	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(2)+塩酸ビラルピシン(20)	3	35	0.1	96.4	7	0.7	3	
47	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+かわらたけ多糖体製剤(58)	3	35	0.1	96.4	6	0.6	6	
48	フルオロウラシル(1)+テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(10)	2	34	0.1	96.5	33	3.5	9	
49	フルオロウラシル(1)+インターフェロンα(42)	2	32	0.1	96.5	15	1.6	3	
50	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)+ペバシズマブ(29)+かわらたけ多糖体製剤(58)	5	31	0.1	96.6	7	0.7	3	
655	上記以外のレジメン(605)		2,069	3.4	—	—	—	—	

参考資料③：入院化学療法ポートフォリオ／各薬剤の名寄せリスト

化学療法薬剤のリスト

C054：フルオロウラシル

→DEC6品 | →レジメン | T薬剤一覧

薬剤リスト

順位	シセ電算コード	薬剤名	注射	内服	外用	薬価	後見
1	644210001	S-FU協和 250mg	○				477
2	640463105	S-FU注250協和 250mg	○				438
3	644210003	FU注「三井」 250mg	○				232
4	644210004	FU注「三井」 500mg	○				430
5	640443050	FU注「シエーリング」 250mg	○				221 ○
6	640443051	FU注「シエーリング」 500mg	○				413 ○
7	614210002	S-FUドライシロップ明治 50mg		○			99
8	620003600	S-FUドライシロップ5%協和 50mg		○			203
9	614210001	S-FUドライシロップ協和 50mg		○			203
10	614210003	S-FU錠100協和 100mg		○			416
11	614210004	S-FU錠50協和 50mg		○			228
12	614210010	FUドライシロップ「キョーリン」 50mg		○			99
13	614210011	FUドライシロップ「三井」 50mg		○			99
14	614210015	アルメルドライシロップ 50mg		○			99
15	614210031	ケシメトンドライシロップ 50mg		○			99
16	614210035	サテロールドライシロップ 50mg		○			99
17	614210044	シロップ用ナチラU 50mg		○			99
18	614210075	フラニガンDS 50mg		○			99
19	610409316	フルオロウラシル100mg錠-GE		○			204
20	610409315	フルオロウラシル50mg1gシロップ用-GE		○			99
21	610411046	フルオロウラシル50mg錠-GE		○			111
22	614210085	フルホーマドライシロップ 50mg		○			99
23	614210094	ペントンドライシロップ 50mg		○			99
24	614210019	ウルップドライシロップ 50mg		○			38 ○
25	614210133	ウルップ錠 100mg		○			179 ○
26	614210132	ウルップ錠 50mg		○			100 ○
27	614210020	ウロサゲンドライシロップ 50mg		○			38 ○
28	614210026	カルゾナールドライシロップ 50mg		○			38 ○
29	614210038	サンクF-D 50mg		○			41 ○
30	614210050	チマジンドライシロップ 50mg		○			41 ○
31	614210072	フラキュールドライシロップ 50mg		○			38 ○
32	610461238	フルオロウラシル100mg錠		○			179 ○
33	610461237	フルオロウラシル50mg1gシロップ用		○			38 ○
34	610461236	フルオロウラシル50mg錠		○			100 ○
35	614210148	ペントン錠100 100mg		○			147 ○
36	614210147	ペントン錠50 50mg		○			84 ○
37	614210118	ルナコールDS 50mg		○			38 ○
38	614210143	ルナコール錠 100mg		○			179 ○
39	614210142	ルナコール錠 50mg		○			100 ○
40	614220009	ルナボン錠100 100mg		○			147 ○
41	614220008	ルナボン錠50 50mg		○			84 ○
42	664210001	S-FU坐剤100協和 100mg			○		540
43	620006502	S-FU軟膏5%協和			○		396
44	664210002	S-FU軟膏協和 5%			○		396

参考資料④：入院化学療法ポートフォリオ/レジメン-DPC 6 桁リスト

レジメンの詳細 2: フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)

レジメンの内容

薬剤数	薬剤組み合わせ	症例数	+-%	施設数	DPC 6 数
3	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(4)+オキサリプラチン(7)	22,546	8.0	781	81

DPC 6 桁分類別の使用状況

順位	DPC6	分類名称	症例数	+-%	+-累積	施設数	+-%
1	060035	大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍	9,321	41.3	41.3	677	86.7
2	060040	直腸肛門（直腸・S状結腸から肛門）の悪性腫瘍	7,298	32.4	73.7	637	81.6
3	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	3,315	14.7	88.4	477	61.1
4	040040	肺の悪性腫瘍	1,360	6.0	94.4	283	36.2
5	110050	後腹膜疾患	428	1.9	96.3	134	17.2
6	060030	小腸の悪性腫瘍	254	1.1	97.5	90	11.5
7	070040	骨軟部の悪性腫瘍（骨髄を除く。）	121	0.5	98.0	52	6.7
8	180050	その他の悪性腫瘍	114	0.5	98.5	45	5.8
9	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	50	0.2	98.7	45	5.8
10	120010	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍	35	0.2	98.9	20	2.6
11	03001x	頸部悪性腫瘍	21	0.1	99.0	8	1.0
12	060020	胃の悪性腫瘍	20	0.1	99.1	13	1.7
13	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	16	0.1	99.1	16	2.0
14	010010	脳腫瘍	15	0.1	99.2	15	1.9
15	040010	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	12	0.1	99.3	5	0.6
16	070030	脊椎・脊髄腫瘍	10	0.0	99.3	3	0.4
17	180010	敗血症	9	0.0	99.3	9	1.2
18	060370	膵炎、膵腔内腫瘍（女性器器を除く。）	8	0.0	99.4	8	1.0
19	110420	水腎症（その他）	6	0.0	99.4	6	0.8
20	100180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	6	0.0	99.4	3	0.4
21	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	5	0.0	99.5	5	0.6
22	040050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	5	0.0	99.5	5	0.6
23	180040	手術・処置等の合併症	5	0.0	99.5	5	0.6
24	161060	詳細不明の損傷等	5	0.0	99.5	4	0.5
25	130070	白血球疾患（その他）	5	0.0	99.5	4	0.5
26	130030	非ホジキンリンパ腫	5	0.0	99.6	3	0.4
27	06007x	脾臓、脾臓の腫瘍	5	0.0	99.6	3	0.4
81	-	上記以外のDPC 6 桁分類(54)	92	0.4	-	-	-

参考資料⑤：外来化学療法ポートフォリオ／薬剤の使用頻度一覧

外来化学療法薬剤リスト

→レジメーン一覧

化学療法薬剤の内容											
順位	化学療法薬剤分類	患者数	率%	薬剤数	率%	施設数	率%	レジメーン数	薬剤数		
1	酢酸リユープロレリン	43,297	12.7	112,715	11.4	352	89.6	151	5		
2	ピカルタミド	31,430	9.2	76,407	7.7	322	81.9	100	2		
3	酢酸ゴセレリン	27,471	8.1	68,978	7.0	341	86.8	148	3		
4	テガフル・キメラシル・オテラシルカリウム配合	24,931	7.3	86,414	8.7	358	91.1	154	2		
5	アナストロゾール	23,343	6.9	60,078	6.1	329	83.7	105	2		
6	テガフル・ウラシル配合	21,100	6.2	72,281	7.3	361	91.9	153	8		
7	クエン酸タモキシフェン	17,737	5.2	43,951	4.4	336	85.5	101	22		
8	フルオロウラシル	14,958	4.4	66,424	6.7	344	87.5	204	44		
9	シクロホスファミド	12,106	3.6	35,935	3.6	336	85.5	284	7		
10	バクリタキセル	12,030	3.5	60,413	6.1	337	85.8	125	9		
11	酢酸メドロキシプロゲステロン	11,474	3.4	26,789	2.7	307	78.1	135	10		
12	塩酸ゲムシタピン	9,270	2.7	52,348	5.3	348	88.5	71	4		
13	レボホリナートカルシウム	8,738	2.6	42,665	4.3	312	79.4	61	23		
14	塩酸イリノテカン	7,740	2.3	32,018	3.2	335	85.2	96	4		
15	ドセタキセル水和物	7,259	2.1	23,200	2.3	302	76.8	115	2		
16	エキセメスタン	6,080	1.8	15,945	1.6	238	60.6	76	1		
17	トラスツズマブ	5,684	1.7	44,012	4.4	283	72.0	147	2		
18	ホリナートカルシウム	5,457	1.6	19,872	2.0	323	82.2	57	5		
19	塩酸エビルピシン	5,392	1.6	16,231	1.6	299	76.1	80	10		
20	カルボプラチン	4,978	1.5	15,262	1.5	256	65.1	56	22		
21	メトトレキサート	4,615	1.4	17,520	1.8	250	63.6	123	4		
22	レトゾール	4,319	1.3	12,537	1.3	256	65.1	106	1		
23	オキサリプラチン	4,263	1.3	17,936	1.8	259	65.9	28	1		
24	フルタミド	4,088	1.2	9,634	1.0	259	65.9	34	3		
25	メシル酸イマチニブ	3,831	1.1	17,949	1.8	284	72.3	38	2		
26	ヒドロキシカルバミド	3,484	1.0	13,803	1.4	254	64.6	38	1		
27	ドキシフルリジン	3,381	1.0	11,330	1.1	294	74.8	120	2		
28	リン酸エストラムスチンナトリウム	3,238	1.0	8,441	0.9	269	68.4	53	4		
29	硫酸ビンクリスチン	3,207	0.9	8,371	0.8	200	50.9	91	2		
30	リツキシマブ	3,143	0.9	8,936	0.9	194	49.4	49	2		
31	がわらたけ多糖体製剤	2,991	0.9	9,441	1.0	166	42.2	97	8		
32	ゲフィチニブ	2,981	0.9	13,534	1.4	261	66.4	31	1		
33	塩酸ドキシソルピシン	2,964	0.9	8,656	0.9	219	55.7	72	3		
34	酒石酸ビノレルピン	2,940	0.9	15,405	1.6	270	68.7	59	2		
35	シスプラチン	2,767	0.8	12,416	1.3	271	69.0	103	23		
36	クエン酸トレミフェン	2,759	0.8	7,419	0.8	237	60.3	59	3		
37	エトボシド	2,457	0.7	7,712	0.8	224	57.0	98	14		
38	カベシタピン	2,350	0.7	8,073	0.8	254	64.6	90	1		
39	インターフェロンα	2,304	0.7	20,338	2.1	289	73.5	27	28		
40	塩酸ピラルピシン	2,200	0.6	8,708	0.9	220	56.0	70	8		
41	メルファラン	1,879	0.6	6,055	0.6	214	54.5	17	3		
42	メルカプトプリン	1,539	0.5	5,601	0.6	138	35.1	60	1		
43	乾燥BCGコンノート株	1,267	0.4	5,956	0.6	190	48.3	13	2		
44	インターフェロンβ	1,159	0.3	11,957	1.2	166	42.2	18	9		
45	テモゾロミド	1,031	0.3	3,591	0.4	155	39.4	13	2		
46	ペバシズマブ	994	0.3	3,991	0.4	154	39.2	19	2		
47	マイトマイシンC	877	0.3	3,128	0.3	171	43.5	57	4		
48	乾燥BCG日本株	759	0.2	3,721	0.4	141	35.9	12	8		
49	レンチナン	711	0.2	3,040	0.3	100	25.4	32	8		
50	ウベニメクス	603	0.2	2,226	0.2	77	19.6	33	2		
51	酢酸オクトレオチド	545	0.2	2,405	0.2	146	37.2	16	5		
52	硫酸ビンデシン	464	0.1	1,153	0.1	68	17.3	45	2		
53	OK-432	442	0.1	1,822	0.2	93	23.7	29	8		
54	塩酸アムルピシン	434	0.1	2,969	0.3	118	30.0	12	2		
55	インターフェロンα-2b	422	0.1	6,811	0.7	146	37.2	15	9		
56	硫酸ビンブラスチン	391	0.1	1,483	0.1	124	31.6	22	5		
57	テセロイキン	380	0.1	7,526	0.8	133	33.8	13	1		
58	ネダプラチン	353	0.1	1,174	0.1	88	22.4	22	3		
59	ラニムスチン	327	0.1	556	0.1	99	25.2	27	2		
60	シタラピン	319	0.1	835	0.1	85	21.6	46	13		
61	L-アスパラギナーゼ	319	0.1	629	0.1	56	14.2	19	4		
62	ダカルバジン	299	0.1	1,355	0.1	112	28.5	22	2		
63	ソフオキサソ	299	0.1	981	0.1	63	16.0	13	2		
64	エノシタピン	294	0.1	701	0.1	5	1.3	21	3		

参考資料⑥：外来化学療法ポートフォリオ/薬剤が含まれるレジメンの一覧

外来化学療法薬剤のレジメンリスト

C054：フルオロウラシル

→商品名 | † 薬剤一覧

レジメンの内容							
順位	薬剤組み合わせ	薬剤数	症例数	←%	←累積	施設数	←%
1	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+オキサリプラチン(23)	3	3,446	23.0	23.0	256	65.1
2	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)	3	2,926	19.6	42.6	226	57.5
3	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+塩酸イリノテカン(14)	3	2,020	13.5	56.1	245	62.3
4	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)	2	1,917	12.8	68.9	258	65.6
5	フルオロウラシル(8)	1	1,251	8.4	77.3	218	55.5
6	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+オキサリプラチン(23)+ペバシズマブ(46)	4	517	3.5	80.7	126	32.1
7	フルオロウラシル(8)+シスプラチン(35)	2	417	2.8	83.5	112	28.5
8	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+塩酸イリノテカン(14)+ペバシズマブ(46)	4	317	2.1	85.6	103	26.2
9	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+メトトレキサート(21)	3	284	1.9	87.5	80	20.4
10	フルオロウラシル(8)+メトトレキサート(21)	2	269	1.8	89.3	78	19.8
11	フルオロウラシル(8)+かわらたけ多糖体制剤(31)	2	197	1.3	90.7	27	6.9
12	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+ペバシズマブ(46)	3	117	0.8	91.4	36	9.2
13	フルオロウラシル(8)+塩酸エビルピシジン(19)	2	109	0.7	92.2	28	7.1
14	フルオロウラシル(8)+ホリナートカルシウム(18)+メトトレキサート(21)	3	83	0.6	92.7	35	8.9
15	アナストロゾール(5)+フルオロウラシル(8)	2	67	0.4	93.2	11	2.8
16	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+オキサリプラチン(23)+かわらたけ多糖体制剤(31)	4	52	0.3	93.5	23	5.9
17	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+塩酸イリノテカン(14)+かわらたけ多糖体制剤(31)	4	47	0.3	93.8	23	5.9
18	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸ドキシソルピシジン(33)	3	43	0.3	94.1	17	4.3
19	アナストロゾール(5)+フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)	4	41	0.3	94.4	27	6.9
20	酢酸ゴセリン(3)+フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)	4	37	0.2	94.6	18	4.6
21	テガフル・ウラシル配合(6)+フルオロウラシル(8)	2	36	0.2	94.9	19	4.8
22	フルオロウラシル(8)+塩酸ゲムシタピン(12)	2	34	0.2	95.1	14	3.6
23	テガフル・ウラシル配合(6)+フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)	3	30	0.2	95.3	6	1.5
24	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+かわらたけ多糖体制剤(31)	3	29	0.2	95.5	14	3.6
25	フルオロウラシル(8)+塩酸イリノテカン(14)	2	28	0.2	95.7	21	5.3
26	フルオロウラシル(8)+マイトマイシンC(47)	2	26	0.2	95.9	13	3.3
27	テガフル・ウラシル配合(6)+フルオロウラシル(8)+シスプラチン(35)	3	23	0.2	96.0	14	3.6
28	クエン酸タモキシフェン(7)+フルオロウラシル(8)	2	22	0.1	96.2	7	1.8
29	フルオロウラシル(8)+塩酸エビルピシジン(19)+マイトマイシンC(47)	3	21	0.1	96.3	14	3.6
30	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸ビラルピシジン(40)	3	21	0.1	96.5	5	1.3
31	フルオロウラシル(8)+ドセタキセル水和物(15)	2	20	0.1	96.6	7	1.8
32	フルオロウラシル(8)+ネダプラチン(58)	2	19	0.1	96.7	7	1.8
33	フルオロウラシル(8)+シソフィラン(75)	2	17	0.1	96.8	5	1.3
34	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+トラスツズマブ(17)+メトトレキサート(21)	4	16	0.1	96.9	10	2.5
35	アナストロゾール(5)+フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+メトトレキサート(21)	4	15	0.1	97.0	11	2.8
36	フルオロウラシル(8)+トラスツズマブ(17)+メトトレキサート(21)	3	15	0.1	97.1	8	2.0
37	テガフル・ウラシル配合(6)+フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+かわらたけ多糖体制剤(31)	4	15	0.1	97.2	2	0.5
38	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)+レトゾール(22)	4	14	0.1	97.3	10	2.5
39	フルオロウラシル(8)+塩酸エビルピシジン(19)+シスプラチン(35)	3	14	0.1	97.4	5	1.3
40	フルオロウラシル(8)+塩酸ドキシソルピシジン(33)	2	13	0.1	97.5	11	2.8
41	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)	2	13	0.1	97.6	9	2.3
42	酢酸リユープロレリン(1)+フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)	4	13	0.1	97.7	9	2.3
43	フルオロウラシル(8)+オキサリプラチン(23)	2	12	0.1	97.8	12	3.1
44	クエン酸タモキシフェン(7)+フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+塩酸エビルピシジン(19)	4	11	0.1	97.8	9	2.3
45	テガフル・ウラシル配合(6)+フルオロウラシル(8)+ホリナートカルシウム(18)	3	10	0.1	97.9	7	1.8
46	フルオロウラシル(8)+バクリタキセル(10)+レボホリナートカルシウム(13)	3	10	0.1	98.0	1	0.3
47	フルオロウラシル(8)+レボホリナートカルシウム(13)+シスプラチン(35)	3	9	0.1	98.0	9	2.3
48	フルオロウラシル(8)+塩酸ゲムシタピン(12)+シスプラチン(35)	3	9	0.1	98.1	5	1.3
49	フルオロウラシル(8)+エキセメスタン(16)	2	9	0.1	98.1	5	1.3
50	フルオロウラシル(8)+シクロホスファミド(9)+エキセメスタン(16)+塩酸エビルピシジン(19)	4	8	0.1	98.2	7	1.8
204	上記以外のレジメン(154)		269	1.8	-	-	-

参考資料⑦：入院・外来化学療法レジメンポートフォリオ/レジメンの治療回数一覧

入院・外来レジメンリスト

→薬形一覧

レジメンの内容		薬剤数	治療回数	←入院	←外来	病院数	←入院	←外来
順位	薬剤組み合わせ							
1	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2)	1	73,967	33,134	40,833	351	339	331
2	酢酸リユープロレリン(3)	1	47,394	1,203	46,191	332	273	325
3	アナストロゾール(9)	1	40,319	6,023	34,296	318	247	299
4	テガフル・ウラシル配合(6)	1	36,919	7,610	29,309	350	300	325
5	塩酸ゲムシタビン(11)	1	32,467	6,883	25,584	329	310	312
6	ピカルタミド(4)	1	30,490	12,448	18,042	321	295	291
7	バクリタキセル(5)	1	29,602	6,216	23,386	316	287	297
8	酢酸オクトレオチド(18)	1	24,897	23,590	1,317	262	252	116
9	フルオロウラシル(1)	1	24,341	20,191	4,150	297	276	191
10	酢酸ゴセレリン(8)	1	23,772	512	23,260	310	193	303
11	クエン酸タモキシフェン(14)	1	21,304	2,847	18,457	324	169	303
12	ゲフィチニブ(22)	1	19,588	11,629	7,959	259	242	229
13	トラスツズマブ(16)	1	18,399	1,028	17,371	254	162	243
14	バクリタキセル(5)+カルボプラチン(15)	2	17,942	11,784	6,158	293	283	204
15	酢酸リユープロレリン(3)+ピカルタミド(4)	2	17,935	301	17,634	284	136	272
16	酢酸メドロキシprogステロン(23)	1	17,575	2,297	15,278	286	152	268
17	フルオロウラシル(1)+シスプラチン(7)	2	17,310	15,485	1,825	261	253	93
18	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(10)+オキサリプラチン(24)	3	17,019	7,158	9,861	316	299	233
19	インターフェロンα(27)	1	16,134	3,988	12,146	273	193	263
20	メシル酸イマチニブ(30)	1	15,189	4,618	10,571	271	180	257
21	ドセタキセル水和物(19)	1	13,356	4,037	9,319	290	262	257
22	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(10)	2	12,973	5,259	7,714	286	238	221
23	シクロホスファミド(12)	1	12,923	7,521	5,402	275	236	232
24	テガフル・ウラシル配合(6)+ホリナートカルシウム(21)	2	12,514	1,845	10,669	302	173	283
25	ピカルタミド(4)+酢酸ゴセレリン(8)	2	12,369	155	12,214	268	81	261
26	塩酸イリノテカン(13)	1	11,933	4,515	7,418	301	261	268
27	シスプラチン(7)	1	11,614	9,692	1,922	316	306	154
28	エトボシド(17)	1	11,378	8,022	3,356	262	250	182
29	ヒドロキシカルバミド(32)	1	11,249	3,058	8,191	250	154	227
30	メトトレキサート(25)	1	10,662	4,010	6,652	250	223	172
31	シタラビン(20)	1	10,570	10,466	104	173	173	18
32	エキセメスタン(34)	1	10,187	1,739	8,448	223	111	211
33	リツキシマブ(33)	1	10,177	5,670	4,507	209	202	156
34	インターフェロンβ(35)	1	9,643	2,585	7,058	158	87	143
35	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(10)+塩酸イリノテカン(13)	3	9,335	3,268	6,067	294	250	220
36	レトゾール(38)	1	8,338	2,579	5,759	241	126	223
37	添石酸ビノレルビン(31)	1	7,482	1,986	5,496	254	206	213
38	ドキシフルリジン(37)	1	7,262	2,447	4,815	258	108	247
39	テセロイキン(41)	1	6,305	2,463	3,842	135	91	107
40	フルオロウラシル(1)+シクロホスファミド(12)+塩酸エビルピシン(26)	3	6,090	884	5,206	219	144	193
41	テモゾロミド(43)	1	5,971	4,211	1,760	166	131	124
42	塩酸エビルピシン(26)	1	5,891	4,500	1,311	257	240	93
43	塩酸ビラルピシン(36)	1	5,815	1,553	4,262	189	139	136
44	リン酸エストラムスチンナトリウム(39)	1	5,487	2,827	2,660	239	162	213
45	メルファラン(48)	1	5,367	1,730	3,637	224	174	192
46	ホリナートカルシウム(21)	1	5,324	4,724	600	193	173	62
47	シクロホスファミド(12)+硫酸ビンクリスチン(28)+塩酸ドキシフルリジン(29)	3	5,194	3,277	1,917	202	199	122
48	クエン酸トミフェン(47)	1	5,066	1,084	3,982	222	87	210
49	インターフェロンα-2b(49)	1	5,000	634	4,366	132	50	127
50	酢酸ゴセレリン(8)+クエン酸タモキシフェン(14)	2	4,868	21	4,847	184	14	181
51	バクリタキセル(5)+トラスツズマブ(16)	2	4,313	235	4,078	183	77	171
52	塩酸アムルピシン(51)	1	4,198	2,482	1,716	180	162	90
53	乾燥BCGコンノート株(52)	1	3,924	225	3,699	174	54	167
54	フルタミド(40)	1	3,788	1,336	2,452	233	101	212
55	シスプラチン(7)+塩酸イリノテカン(13)	2	3,431	2,121	1,310	242	233	102
56	シスプラチン(7)+エトボシド(17)	2	3,395	3,375	20	187	186	7
57	シクロホスファミド(12)+塩酸エビルピシン(26)	2	3,291	646	2,645	155	88	141
58	カベシタピン(46)	1	3,051	739	2,312	204	86	180
59	メルカプトプリン(45)	1	2,962	1,612	1,350	119	87	88
60	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2)+塩酸ゲムシタビン(11)	2	2,772	411	2,361	188	116	167
61	OK-432(54)	1	2,692	1,957	735	267	257	69
62	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2)+塩酸イリノテカン(13)	2	2,622	377	2,245	212	119	191
63	酢酸リユープロレリン(3)+クエン酸タモキシフェン(14)	2	2,556	12	2,544	171	10	169
64	カルボプラチン(15)+ドセタキセル水和物(19)	2	2,546	1,759	787	173	157	92
65	乾燥BCG日本株(59)	1	2,520	164	2,356	127	46	122
66	マイトマイシンC(50)	1	2,461	1,245	1,216	193	163	95
67	カルボプラチン(15)+エトボシド(17)	2	2,456	2,091	365	212	211	73

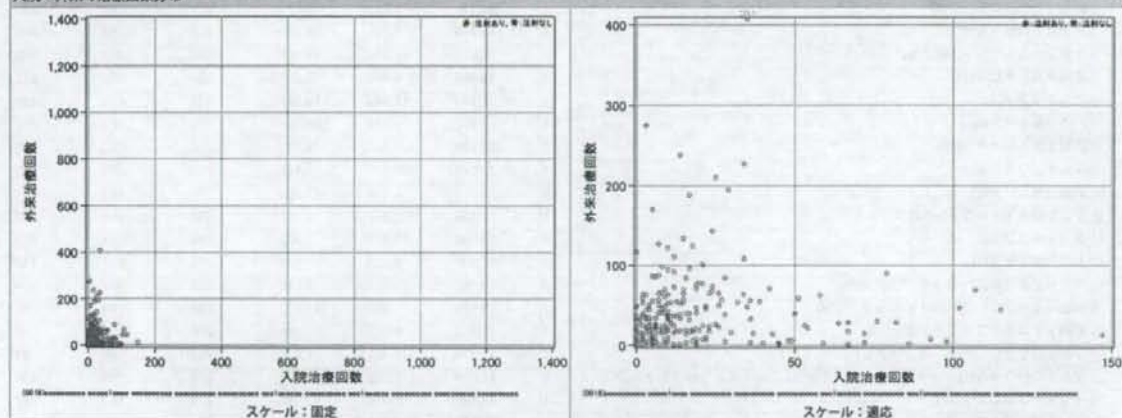
参考資料⑧：入院・外来化学療法レジメンポートフォリオ/レジメン別の施設別入外比率

レジメンの詳細

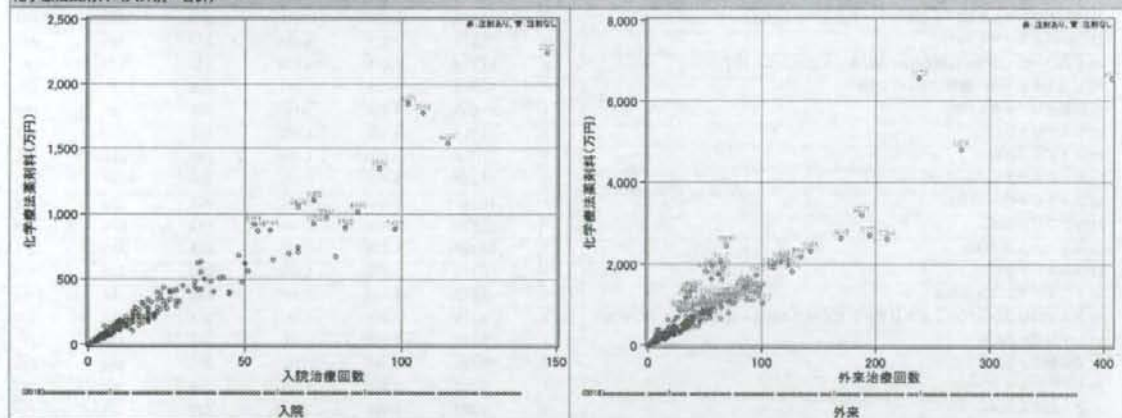
18：フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(10)+オキサリプラチン(24)

順位	薬剤組み合わせ	治療回数	患者数	←入院	←外来	入院数	←入院	←外来
1	フルオロウラシル(1)+レボホリナートカルシウム(10)+オキサリプラチン(24)	3	17,019	7,158	9,861	316	299	233

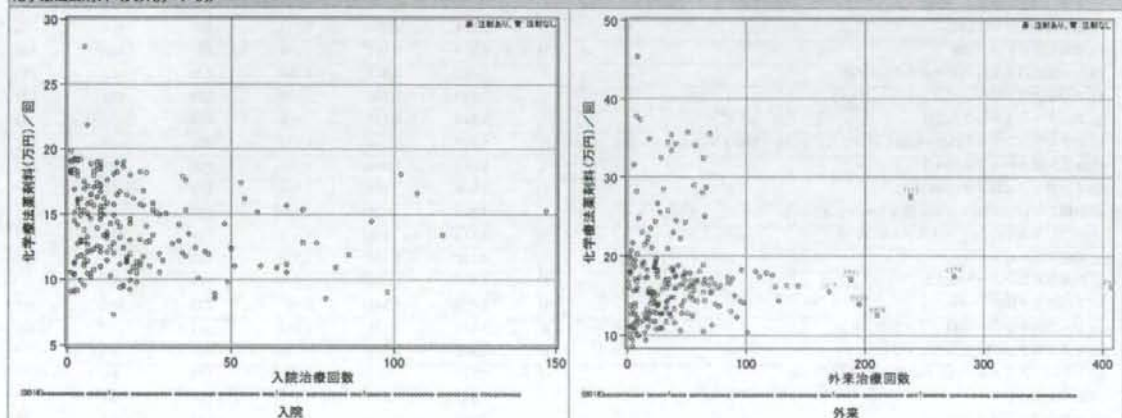
入院・外来の治療回数分布



化学療法薬剤料（入外別・合計）



化学療法薬剤料（入外別・/回）



参考資料⑨：後発品の選択状況外化学療法に関するポートフォリオ／使用割合の一覧

入院・外来化学療法薬剤リスト

化学療法薬剤の内容

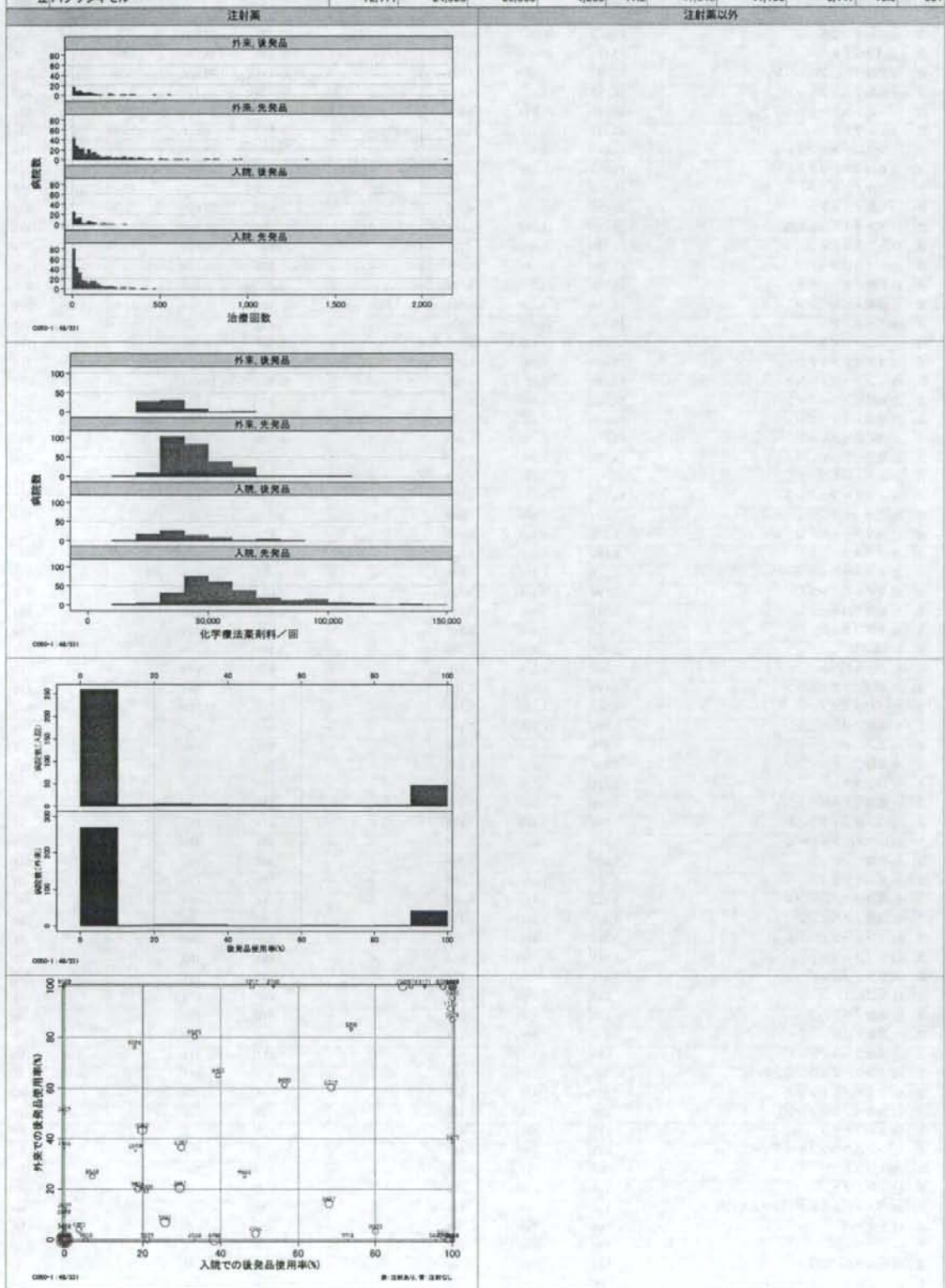
薬名	剤形	化学療法薬剤分類	治療回数	入院				外来				病院数
				入院計	←先発品	←後発品	(%)	外来計	←先発品	←後発品	(%)	
注 1	フルオロウラシル		93,453	55,564	55,564	-	-	37,889	37,889	-	-	339
注 2	パクリタキセル		72,171	24,826	20,560	4,266	17.2	47,345	41,198	6,147	13.0	331
注 3	酢酸リュープロレリン		72,081	1,657	1,657	-	-	70,424	70,424	-	-	332
注 4	塩酸ゲムシタビン		65,293	16,517	16,517	-	-	48,776	48,776	-	-	333
注 5	レボホリナートカルシウム		64,355	25,933	24,583	1,350	5.2	38,422	37,018	1,404	3.7	333
注 6	シスプラチン		57,397	49,212	33,508	15,704	31.9	8,185	5,918	2,267	27.7	337
注 7	シクロホスファミド		44,835	20,362	20,362	-	-	24,473	24,473	-	-	316
注 8	酢酸ゴセレリン		44,011	753	753	-	-	43,258	43,258	-	-	322
注 9	カルボプラチン		43,889	30,050	22,360	7,730	25.7	13,799	10,057	3,742	27.1	306
注 10	塩酸イリノテカン		38,430	14,550	14,550	-	-	23,880	23,880	-	-	337
注 11	ドセタキセル水和物		29,531	11,575	11,575	-	-	17,956	17,956	-	-	305
注 12	トラスツズマブ		28,545	1,715	1,715	-	-	26,830	26,830	-	-	270
注 13	シタラビン		26,794	26,265	26,265	-	-	529	529	-	-	189
注 14	酢酸オクトレオチド		25,365	24,002	24,002	-	-	1,363	1,363	-	-	261
注 15	塩酸エビルピシシ		23,566	9,286	7,081	2,205	23.7	14,280	11,195	3,085	21.6	320
注 16	エトボシド		21,326	19,904	19,904	-	-	1,422	1,422	-	-	263
注 17	リツキシマブ		19,864	10,542	10,542	-	-	9,322	9,322	-	-	214
注 18	オキサリプラチン		18,899	7,997	7,997	-	-	10,902	10,902	-	-	317
注 19	インターフェロンα		17,522	4,701	4,701	-	-	12,821	12,821	-	-	272
注 20	硫酸ビンクリスチン		16,832	11,805	11,805	-	-	5,027	5,027	-	-	238
注 21	塩酸ドキシソルピシシ		15,941	10,657	10,657	-	-	5,284	5,284	-	-	283
注 22	酒石酸ビンレリルピシシ		13,871	4,283	4,283	-	-	9,588	9,588	-	-	275
注 23	塩酸ピラルピシシ		13,460	5,845	5,845	-	-	7,615	7,615	-	-	254
注 24	メトトレキサート		12,502	8,394	8,394	-	-	4,108	4,108	-	-	272
注 25	インターフェロンβ		11,219	3,992	3,992	-	-	7,227	7,227	-	-	161
注 26	テセロイキン		7,270	2,999	2,999	-	-	4,271	4,271	-	-	144
注 27	ホリナートカルシウム		6,626	6,495	6,495	-	-	131	131	-	-	165
注 28	イホスファミド		5,996	5,922	5,922	-	-	74	74	-	-	141
注 29	インターフェロンα-2b		5,274	811	811	-	-	4,463	4,463	-	-	133
注 30	マイトマイシンC		5,198	3,321	3,321	-	-	1,877	1,877	-	-	256
注 31	塩酸アムルピシシ		5,131	3,032	3,032	-	-	2,099	2,099	-	-	183
注 32	ネダプラチン		4,763	3,928	3,928	-	-	835	835	-	-	165
注 33	OK-432		3,405	2,206	2,206	-	-	1,199	1,199	-	-	274
注 34	ダカルバジン		3,389	2,570	2,570	-	-	819	819	-	-	153
注 35	硫酸ビンプラスチン		3,110	2,165	2,165	-	-	945	945	-	-	210
注 36	ペキサズマブ		2,942	1,160	1,160	-	-	1,782	1,782	-	-	150
注 37	塩酸アクリルピシシ		2,889	2,385	2,385	-	-	504	504	-	-	128
注 38	エノシタピン		2,411	1,545	1,545	-	-	866	866	-	-	52
注 39	塩酸プレオマイシシ		2,331	1,608	1,608	-	-	723	723	-	-	164
注 40	レンチナン		2,221	333	333	-	-	1,888	1,885	3	0.2	103
注 41	塩酸ミトキサントロン		2,165	1,955	1,955	-	-	210	210	-	-	150
注 42	リン酸フルダラビン		1,893	1,676	1,676	-	-	217	217	-	-	92
注 43	L-アスパラギナーゼ		1,826	1,505	1,505	-	-	321	321	-	-	88
注 44	硫酸ビンデシシ		1,824	1,044	1,044	-	-	780	780	-	-	132
注 45	ボルテゾミブ		1,794	1,066	1,066	-	-	728	728	-	-	84
注 46	塩酸ダウノルピシシ		1,629	1,615	1,615	-	-	14	14	-	-	137
注 47	塩酸イダルピシシ		1,480	1,412	1,412	-	-	68	68	-	-	132
注 48	インターフェロンγ-n1		1,384	496	496	-	-	888	888	-	-	45
注 49	シゾフィラン		1,151	668	668	-	-	483	483	-	-	33
注 50	クラドリピン		945	724	724	-	-	221	221	-	-	63
注 51	ラニムステシ		938	560	560	-	-	378	378	-	-	143
注 52	塩酸ノギテカン		832	613	613	-	-	219	219	-	-	50
注 53	三酸化ビ素		714	714	714	-	-	0	0	-	-	19
注 54	塩酸ニムスチン		685	474	474	-	-	211	211	-	-	110
注 55	インターフェロンガンマ-1a		595	151	151	-	-	444	444	-	-	32
注 56	アクチノマイシンD		497	474	474	-	-	23	23	-	-	40
注 57	硫酸ペフロマイシシ		488	455	455	-	-	33	33	-	-	33
注 58	メルファラン		487	487	487	-	-	0	0	-	-	83
注 59	ジノスタチンステチマラマー		411	410	410	-	-	1	1	-	-	26
注 60	トシリズマブ		356	17	17	-	-	339	339	-	-	27
注 61	ブスルファン		305	305	305	-	-	0	0	-	-	35
注 62	ペメトレキセドナトリウム水和物		173	134	134	-	-	39	39	-	-	40
注 63	チオテバ		168	148	148	-	-	20	20	-	-	19
注 64	テガフル		148	148	148	-	-	0	0	-	-	2
注 65	セルモロイキン		143	49	49	-	-	94	94	-	-	5
注 66	ゲムツズマブオゾガマイシシ		99	99	99	-	-	0	0	-	-	45
注 67	ベントスタチン		42	30	30	-	-	12	12	-	-	11

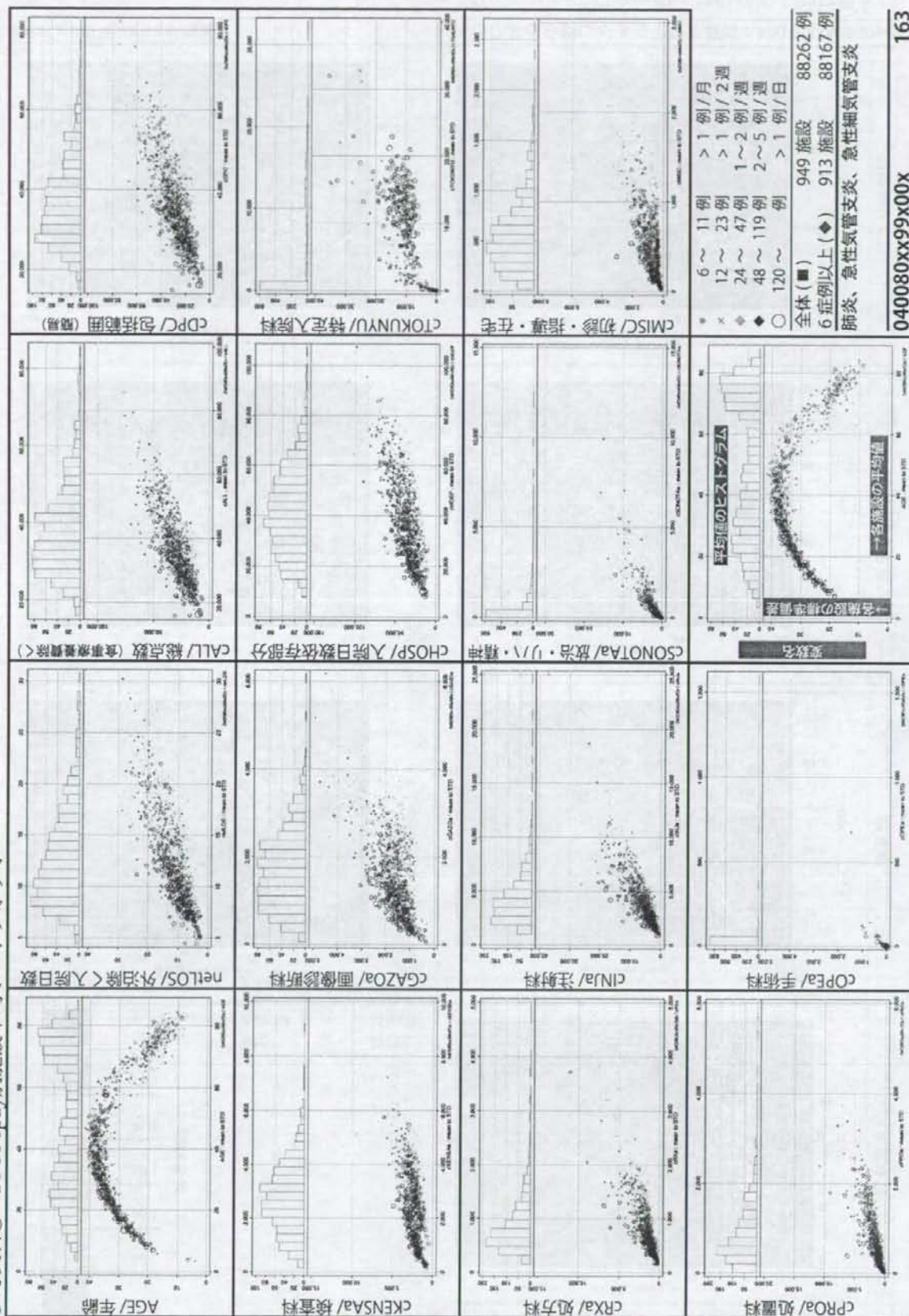
参考資料⑩：後発品の選択状況外来化学療法に関するポートフォリオ／薬剤別施設別後発品使用率

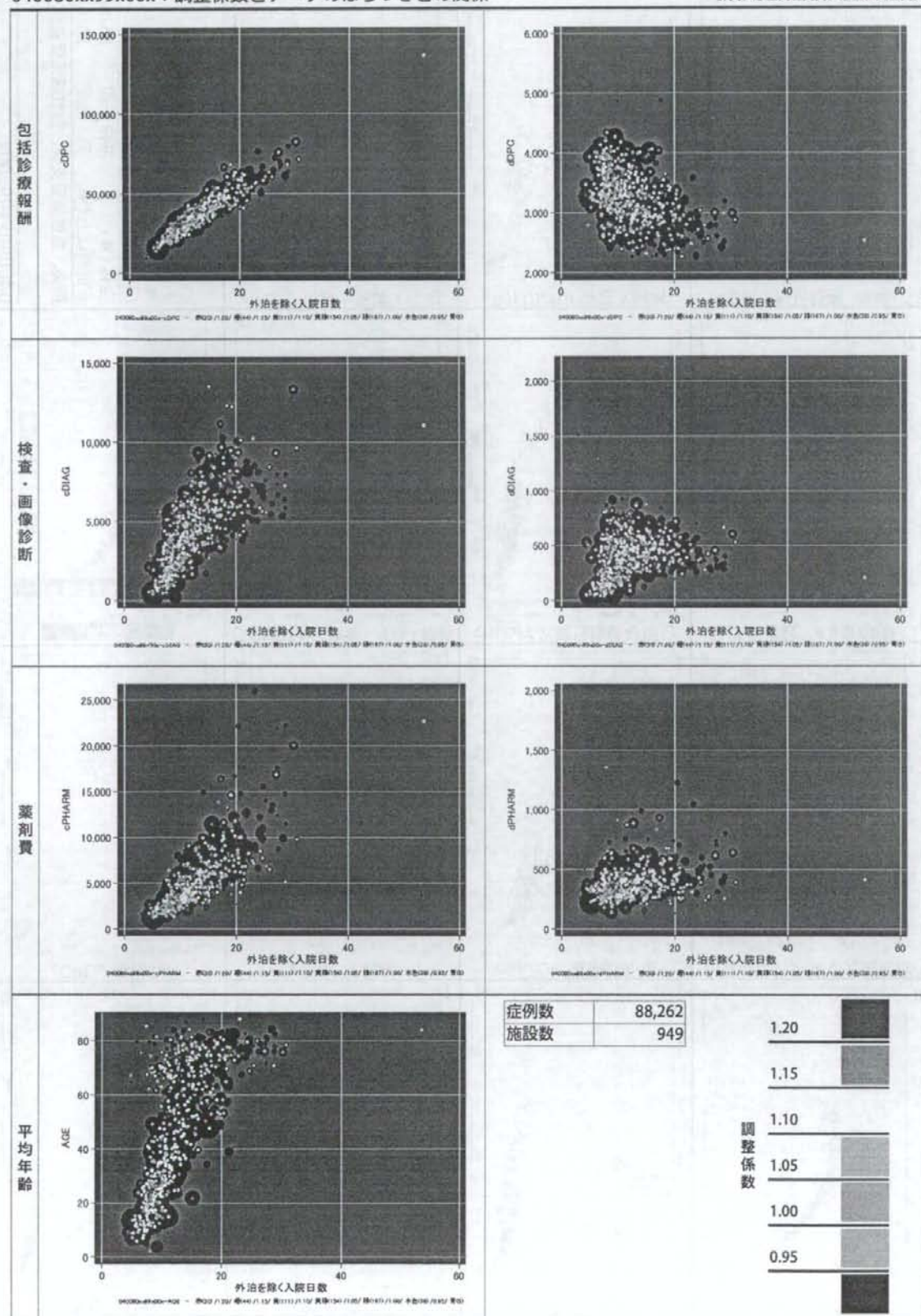
化学療法薬剤の詳細 / CD50：パクリタキセル

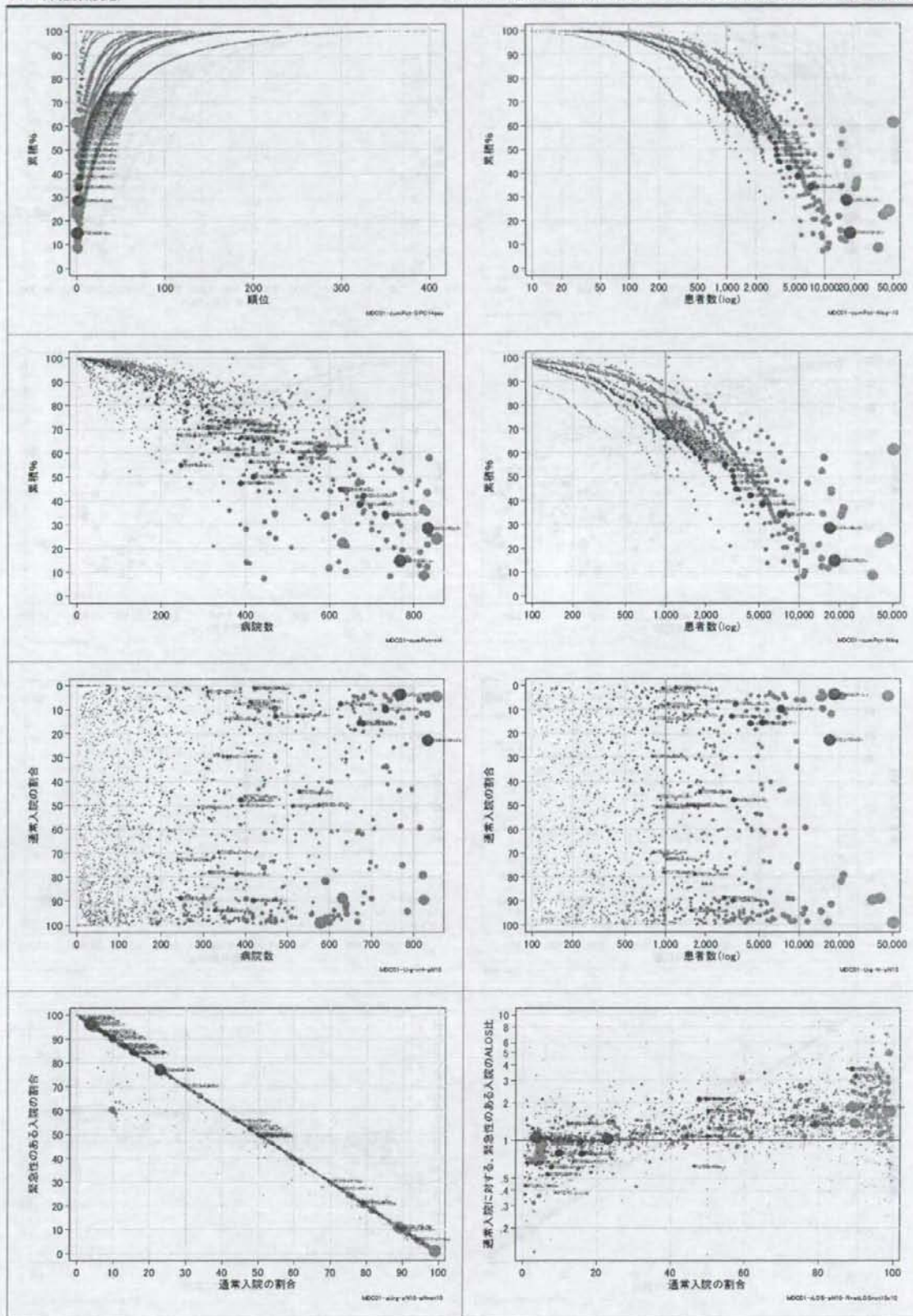
↑施設一覧

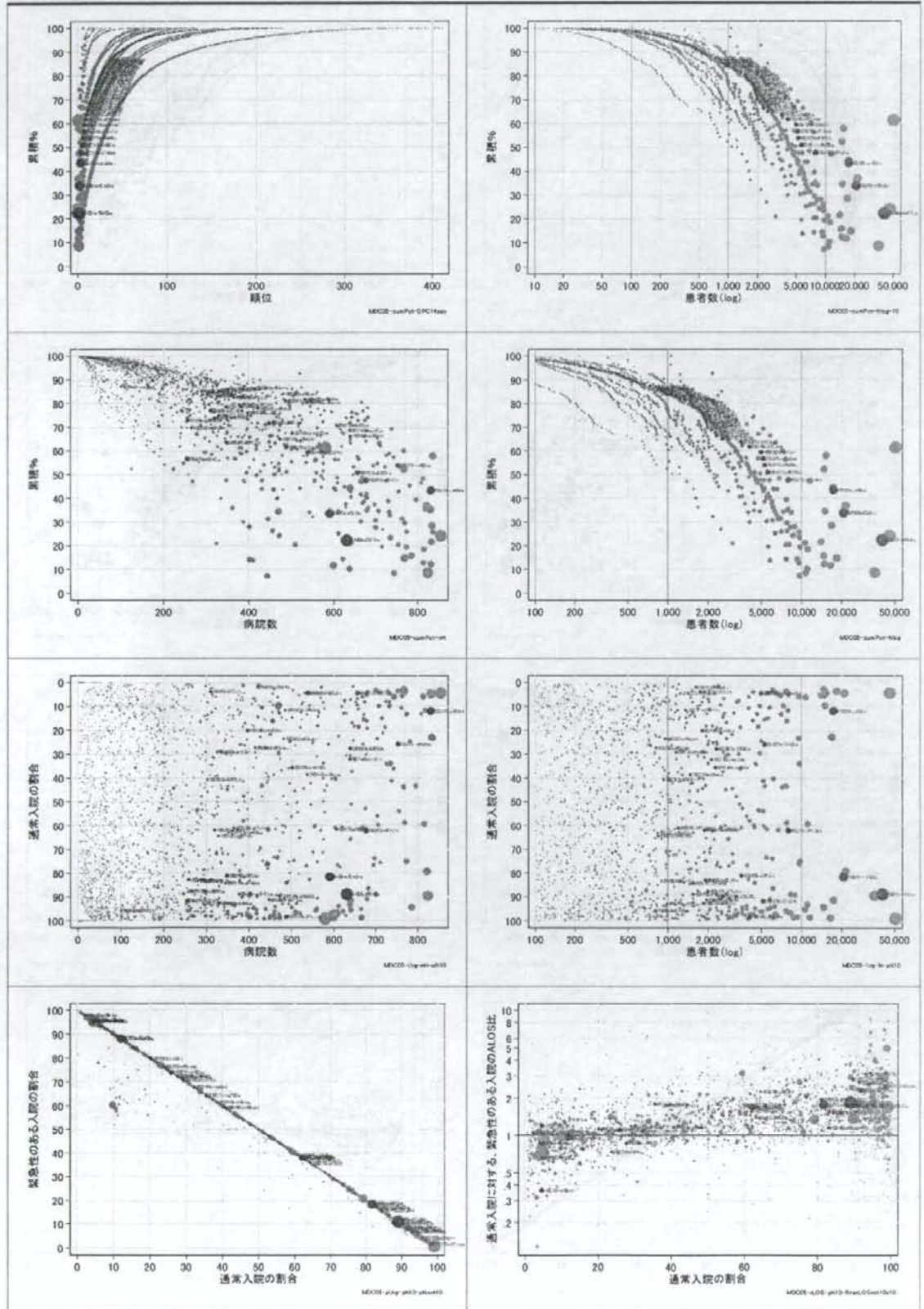
施設	化学療法薬剤分類	治療回数	入院計	←先発品	←後発品	(%)	外来計	←先発品	←後発品	(%)	施設数
注	パクリタキセル	72,171	24,826	20,560	4,266	17.2	47,345	41,198	6,147	13.0	331









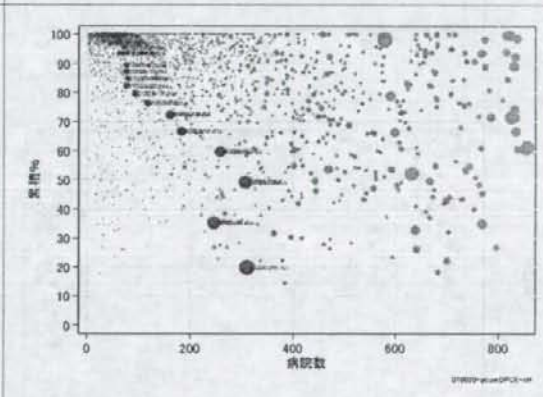
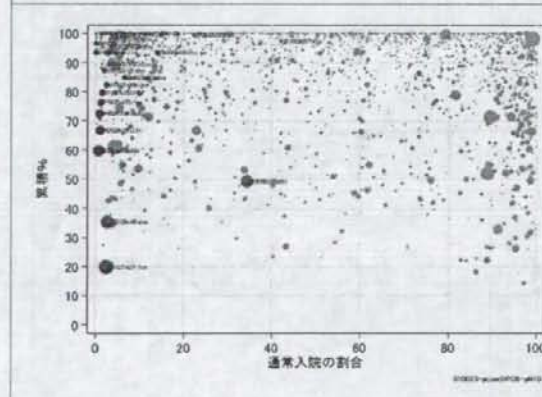
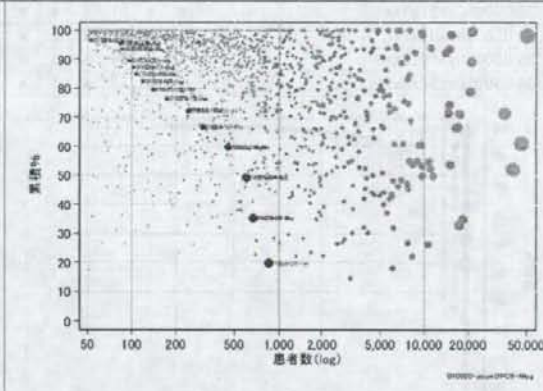
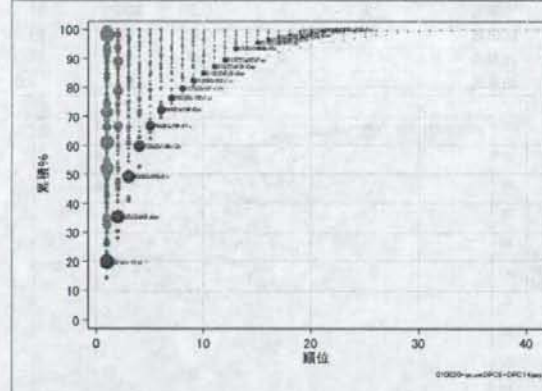


参考資料⑮：DPC分類の緊急性／010020

010020：くも膜下出血、破裂脳動脈瘤

DPC 6桁分類一覧に戻る

順位	DPC14pay	支払方法	病院数	症例数	←%	←累積 (%)	通常入院 (%)	
全体 病院数の最大：311、病院数の最小（1%以上）：23								
1	010020x001x1xx	x 0 01 x 1 x x	包括	311	854	19.8	19.8	2.5
2	010020x001x0xx	x 0 01 x 0 x x	包括	246	669	15.5	35.2	2.7
3	010020x099x0xx	x 0 99 x 0 x x	出来高	308	604	14.0	49.2	34.4
4	010020x199x10x	x 1 99 x 1 0 x	包括	259	453	10.5	59.7	0.7
5	010020x101x11x	x 1 01 x 1 1 x	包括	183	303	7.0	66.7	1.0
6	010020x199x0xx	x 1 99 x 0 x x	出来高	161	243	5.6	72.3	0.8
7	010020x102x1xx	x 1 02 x 1 x x	包括	117	174	4.0	76.4	1.1
8	010020x101x10x	x 1 01 x 1 0 x	包括	93	140	3.2	79.6	1.4
9	010020x002x1xx	x 0 02 x 1 x x	包括	77	119	2.8	82.3	2.5
10	010020x003x0xx	x 0 03 x 0 x x	包括	79	107	2.5	84.8	6.5
11	010020x101x0xx	x 1 01 x 0 x x	包括	76	103	2.4	87.2	1.9
12	010020x003x1xx	x 0 03 x 1 x x	包括	75	96	2.2	89.4	3.1
13	010020x002x0xx	x 0 02 x 0 x x	出来高	62	86	4.0	93.4	14.0
14	010020x199x11x	x 1 99 x 1 1 x	包括	71	86	4.0	93.4	0.0
15	010020x099x1xx	x 0 99 x 1 x x	包括	71	83	1.9	95.3	3.6
16	010020x103x1xx	x 1 03 x 1 x x	包括	45	53	1.2	96.6	0.0
17	010020x097x0xx	x 0 97 x 0 x x	出来高	33	38	0.9	97.4	42.1
18	010020x102x0xx	x 1 02 x 0 x x	出来高	29	30	0.7	98.1	3.3
19	010020x097x1xx	x 0 97 x 1 x x	出来高	23	27	1.2	99.4	22.2
20	010020x197x1xx	x 1 97 x 1 x x	出来高	23	27	1.2	99.4	3.7
21	010020x197x0xx	x 1 97 x 0 x x	出来高	20	20	0.5	99.8	10.0
22	010020x103x0xx	x 1 03 x 0 x x	出来高	7	7	0.2	100.0	0.0

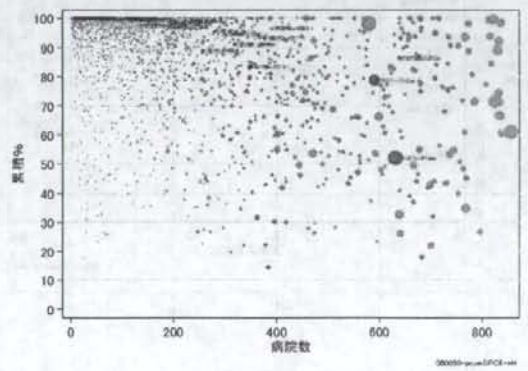
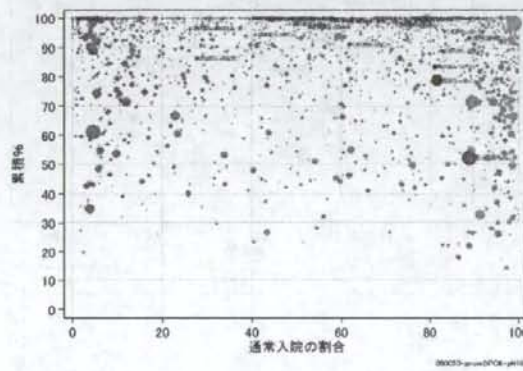
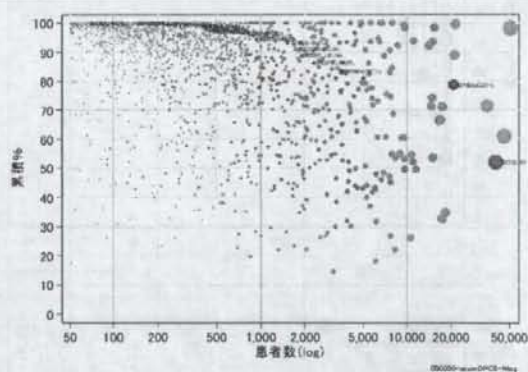
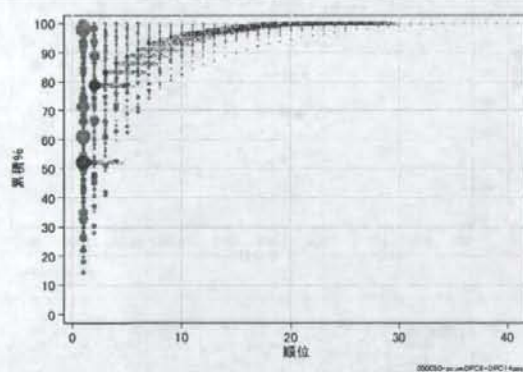


参考資料⑩：DPC分類の緊急性／050050

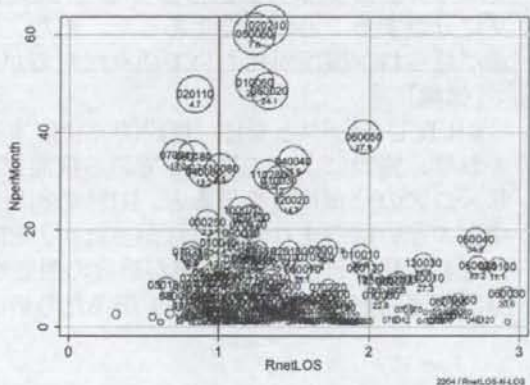
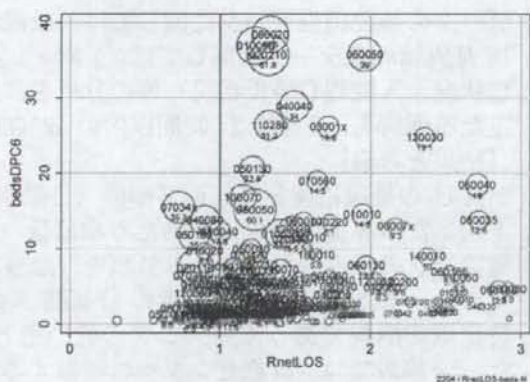
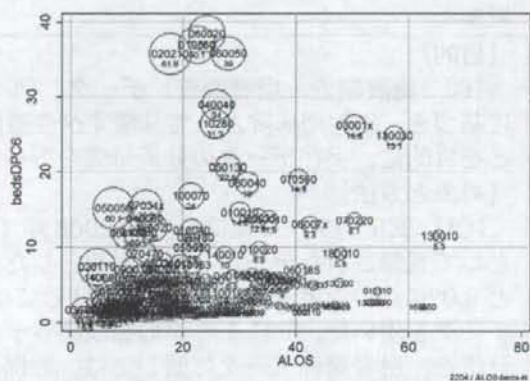
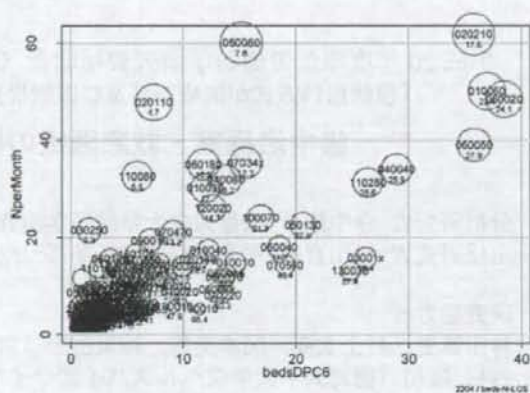
050050：狭心症、慢性虚血性心疾患

DPC 6桁分類一覧に戻る

順位	DPC14pay	支払方法	病院数	症例数	←%	←累積 (%)	通常入院 (%)					
全体	病院数の最大：640、病院数の最小(1%以上)：258	—	—	77,664	—	—	81.7					
1	050050xx9910xx	x x	99	1	0	x x	包括	631	40,427	52.1	52.1	88.9
2	050050xx03x0xx	x x	03	x	0	x x	包括	590	20,732	26.7	78.7	81.6
3	050050xx9912xx	x x	99	1	2	x x	包括	348	3,537	4.6	83.3	81.1
4	050050xx99000x	x x	99	0	0	0 x	包括	640	2,311	3.0	86.3	27.7
5	050050xx02x0xx	x x	02	x	0	x x	包括	258	1,910	2.5	88.7	82.9
6	050050xx03x2xx	x x	03	x	2	x x	包括	319	1,864	2.4	91.1	61.9
7	050050xx9911xx	x x	99	1	1	x x	包括	377	1,528	2.0	93.1	88.9
8	050050xx9902xx	x x	99	0	2	x x	包括	303	932	1.2	94.3	40.7
9	050050xx03x10x	x x	03	x	1	0 x	包括	280	889	1.1	95.4	83.4
10	050050xx99001x	x x	99	0	0	1 x	包括	390	742	1.0	96.4	26.3
11	050050xx02x4xx	x x	02	x	4	x x	包括	190	451	0.6	97.0	52.8
12	050050xx02x2xx	x x	02	x	2	x x	包括	138	432	0.6	97.5	72.5
13	050050xx03x4xx	x x	03	x	4	x x	包括	196	417	0.5	98.1	48.4
14	050050xx03x11x	x x	03	x	1	1 x	包括	192	404	0.5	98.6	71.0
15	050050xx97x0xx	x x	97	x	0	x x	包括	225	364	0.5	99.1	60.7
16	050050xx97x4xx	x x	97	x	4	x x	包括	128	270	0.3	99.4	56.7
17	050050xx02x1xx	x x	02	x	1	x x	包括	105	174	0.2	99.6	75.9
18	050050xx97x2xx	x x	97	x	2	x x	包括	99	137	0.2	99.8	48.2
19	050050xx9901xx	x x	99	0	1	x x	包括	56	66	0.1	99.9	42.4
20	050050xx97x1xx	x x	97	x	1	x x	出来高	32	33	0.0	99.9	39.4
21	050050xx01x0xx	x x	01	x	0	x x	出来高	12	16	0.0	100.0	75.0
22	050050xx03x3xx	x x	03	x	3	x x	出来高	10	10	0.0	100.0	50.0
23	050050xx01x4xx	x x	01	x	4	x x	出来高	9	9	0.0	100.0	66.7
24	050050xx01x2xx	x x	01	x	2	x x	出来高	6	6	0.0	100.0	83.3
25	050050xx9913xx	x x	99	1	3	x x	出来高	2	2	0.0	100.0	50.0
26	050050xx97x3xx	x x	97	x	3	x x	出来高	1	1	0.0	100.0	0.0



参考資料⑰：施設別病床利用ポートフォリオ



退院数	10,439
延入院日数	190,866
病床数	1,043
病床回転率 / 月	1.67

病院番号：2204 1

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）分担研究報告書
『包括払い方式が医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究報告』

集中治療室・救急医療の機能評価等に関する研究

分担研究者 今中雄一 京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授
主任研究者 松田晋哉 産業医科大学医学部公衆衛生学教授

研究協力者

林田賢史、村上玄樹、関本美穂、梅垣岳志（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）
西村 匡司（徳島大学大学院ヘルスパイオサイエンス研究部救急集中治療医学）

概要

【目的】

ICU（施設調査、患者調査）データ、ER（施設調査、実績調査、患者調査）データに基づき、急性期病院として具備すべき機能を評価・検討する際の資料を提供することを目的に、実在データの分析研究を行った。

【対象と方法】

ICU、ER のデータに関しては 2008 年 10 月に ICU、ER を利用した全患者を対象として登録されたデータを解析対象とした。ICU に関しては、129 施設の施設データと 8,026 件の患者データを、ER に関しては 148 施設の施設データと 8,410 件の患者データを用いた。ICU データの施設調査データに関しては、ベッド数や運営形態等の分析を、患者調査データに関しては、性別、年齢、入室経路・目的、入室の緊急性、主たる傷病名、入室後 24 時間以内の APACHE スコア等の分析を実施した。同様に、ER データの施設調査データに関しては、設置・運営形態や ICU の併設状況等の分析を、10 月実績調査データに関しては、1 次・2 次・3 次患者の利用状況（24 時間・退院死亡状況、入院時心停止状況）等の分析を、患者調査データに関しては、性別、年齢、主たる傷病名、受診後 24 時間以内の APACHE スコア、AIS スコア等の分析を実施した。

【結果と考察】

ICU の施設に関して、運営形態（日勤中の専従医の有無）、治療方針決定項目数、1 床あたり専従医数、1 床あたり機器数（人工呼吸器、血管浄化装置）、1 床あたり看護師数の組み合わせにより分類を行なった結果、特徴的なグループに分けることができた。また、ICU 入室患者の APACHE スコアに関しては、広くばらつきが見られ、特定機能病院であってもスコアの低い患者が大半を占めている病院も見られた。また、ER 施設では、救急センターに該当する施設としない施設において、運営形態（専従医の有無）、ER の設置形態、ICU 併設の有無の組み合わせによって特徴的なグループに分類することが可能であった。また、ER の患者の APACHE スコアは、広くばらつきが見られ、機能面において様々な対応が必要と考えられる。

【結論】

ER、ICU データともに、施設間で利用する患者の状態像に大きなばらつきがみられており、施設によって果たしている機能に違いがあることが示唆される。APACHE II スコアの分布状況を見ると、ICU の利用状況では、特定病院とそれ以外の病院で重症度の違いはあまりみられなかったが、ER では特定病院には、最も軽いカテゴリーの患者が見られず、特定病院が重症の患者を受け入れていることが示唆された。一方、施設の運営形態や常勤医数、1 床あたりの医療機器数、看護師数などの構造的な要因

を用いて施設を分類することも可能であった。

ICU、ER データともに、今回のような大規模なデータでの分析はあまりなく、分析結果は急性期病院として具備すべき機能を評価・検討する際の資料として大きな役割を担えると考えられる

A. 目的

医療資源が集中的に投入される集中治療室医療・救急医療において、業務量や機能等を評価することは重要なテーマである。そこで、業務量分析や機能評価等を実施し、ICU（施設調査、患者調査）データ、ER（施設調査、実績調査、患者調査）データに基づき、急性期病院として具備すべき機能を評価・検討する際の資料を提供することを目的に、実在データの分析研究を行った。

B. 対象と方法

ICU、ER のデータに関しては 2008 年 10 月に ICU、ER を利用した全患者を対象として登録されたデータを解析対象とした。ICU に関しては、129 施設の施設データと 8,026 件の患者データを、ER に関しては 148 施設の施設データと 117,556 件の 10 月実績データと 8,410 件の患者データを用いた。

(1) ICU（集中治療室）データ

施設調査データに関しては、ベッド数や運営形態等の分析を、患者調査データに関しては、性別、年齢、入室経路・目的、入室後 24 時間以内の APACHE スコア等の分析を実施した。

次に、施設の特長（機能）を分類するために、階層的クラスター分析を用いて、3 分類を想定し、3 つになるように集約（グループ）化をおこなった。その後分類されたクラスター間で施設特性について比較をおこなった。分類は、以下の施設の構造を示す変数の組み合わせにより

行なった。

① 日勤中の専任/専従医の有無

運営携帯として、（集中治療、麻酔、救急）専門医資格を持った専任/専従医が日勤中は ICU 病棟に常にいるか

② 運営形態

専任/専従医が「治療方針」として、カテコラミンの投与量、人口呼吸器の条件/離脱時期の決定、IAPB/PCPC の適応、血液浄化両方の適応、鎮静鎮痛の指示、抗菌薬投与、入退室の全 7 項目を決定しているか、いないかの 2 値変数と「カンファレンス」として、医師勤務交替時の申し送り、問題症例検討会、死亡症例検討会、死亡症例検討会に担当科が参加するか、ICU に特化した安全管理マニュアルの有無の 5 項目中の当てはまった項目数の計 2 変数を用いた

③ 1 床あたりの機器数

ICU 1 床あたりの人工呼吸器の台数、および ICU 1 床あたりの血液浄化装置の台数

④ 1 勤務帯の 1 床あたり看護師数

平日及び休日の時間帯別の看護師の人数を用いて、1 勤務帯における 1 床あたりの看護師数を算出

上記 4 変数の組み合わせにより、以下の 4 つの条件で、グループ内平均連結法を用いて、階層的クラスター分析を行なった。

- ・ 分析 ICU-1: 変数①②
- ・ 分析 ICU-2: 変数①②③
- ・ 分析 ICU-3: 変数①② ④
- ・ 分析 ICU-4: 変数①②③④

次に、ICU 病床が 4 床以上 37 床以下（上下 2.5 パーセンタイルをハズレ値として除去）の施設に限定し、上記 4 分析を同